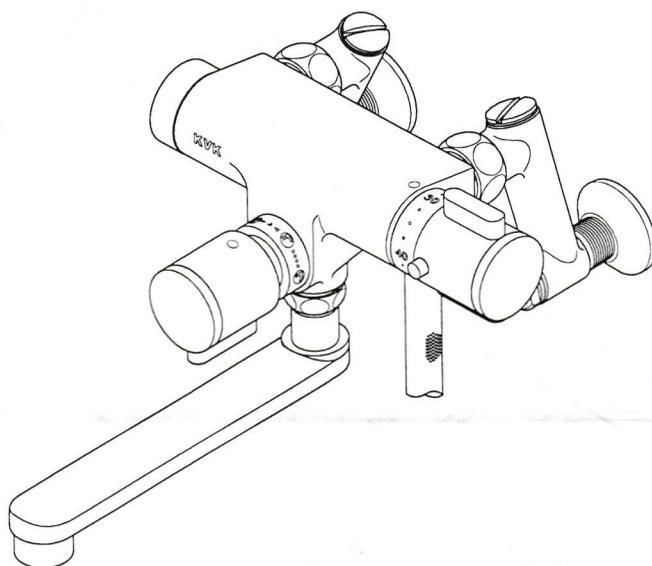


KVK サーモスタット式シャワー KF112GT・KF112WGT 施工説明書

- 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
尚、この施工説明書と、同梱の取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。



⚠ 安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

- 湯水を逆に配管しないでください。
水をだそうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
- 凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。(寒冷地仕様の場合)
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。凍結が予想される地域には寒冷地仕様水栓をご使用ください。
- スチームルームにご使用の際は相談ください。
器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。
- 施工完了後は、配管接続部及び器具から水漏れのないことを確認してください。
漏水で、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

使用条件

①使用水压〔A=(給湯機の最低作動水压)+(配管圧力損失)〕

(1)瞬間給湯機との組み合わせ

- ・設定条件 水 温：25℃ 給湯機温度調節：高温
吐水温度：42℃ ハンドル全開

〔比例制御式〕

最低必要水压	最高水压
A+0.06MPa(0.6kgf/cm ²)	0.59MPa(6.0kgf/cm ²)

(2)貯湯式給湯機との組み合わせ

〔給湯・給水圧力〕

最低必要水压	最高水压
A+0.06MPa(0.6kgf/cm ²)	0.59MPa(6.0kgf/cm ²)

②切替ハンドルは、全開で使用してください。

給湯機が着火しない場合があります。

③給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。

④給水圧力が0.29MPa(3kgf/cm²)から、0.59MPa(6kgf/cm²)までは、止水弁で水量調節してください。

⑤給水圧力が0.59MPa(6kgf/cm²)を超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa(2kgf/cm²)程度に減圧してください。

⑥給湯に蒸気を使用しないでください。

器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。

⑦湯水を逆に配管しないでください。

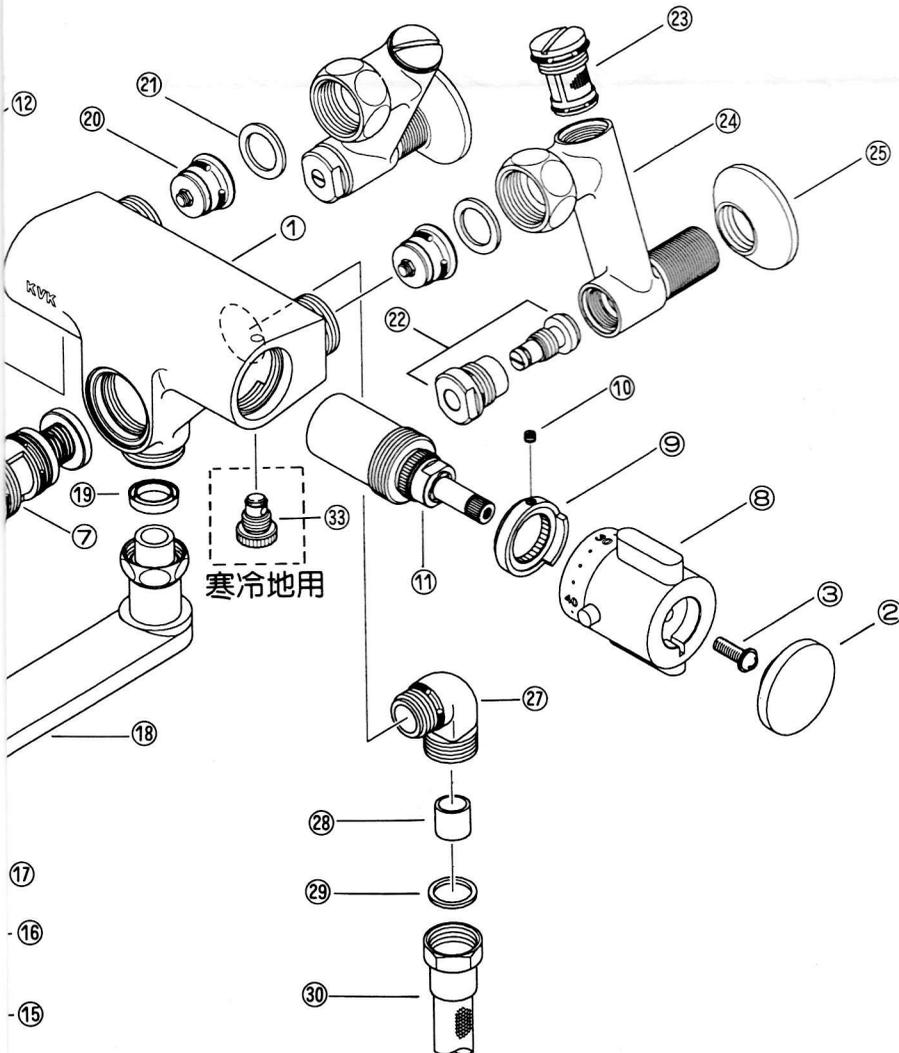
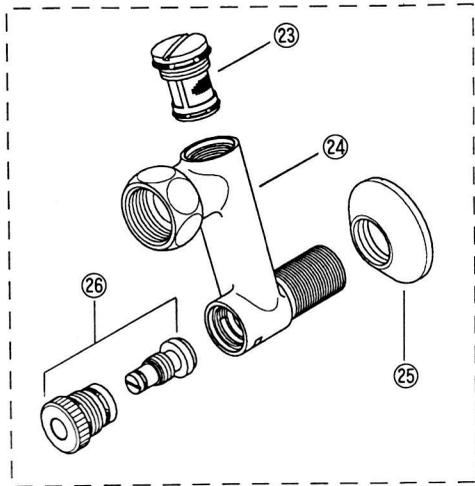
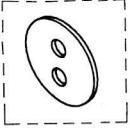
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

⑧給湯機からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。

⑨使用諸条件を加味して適正な能力の給湯機を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。

寒冷地用

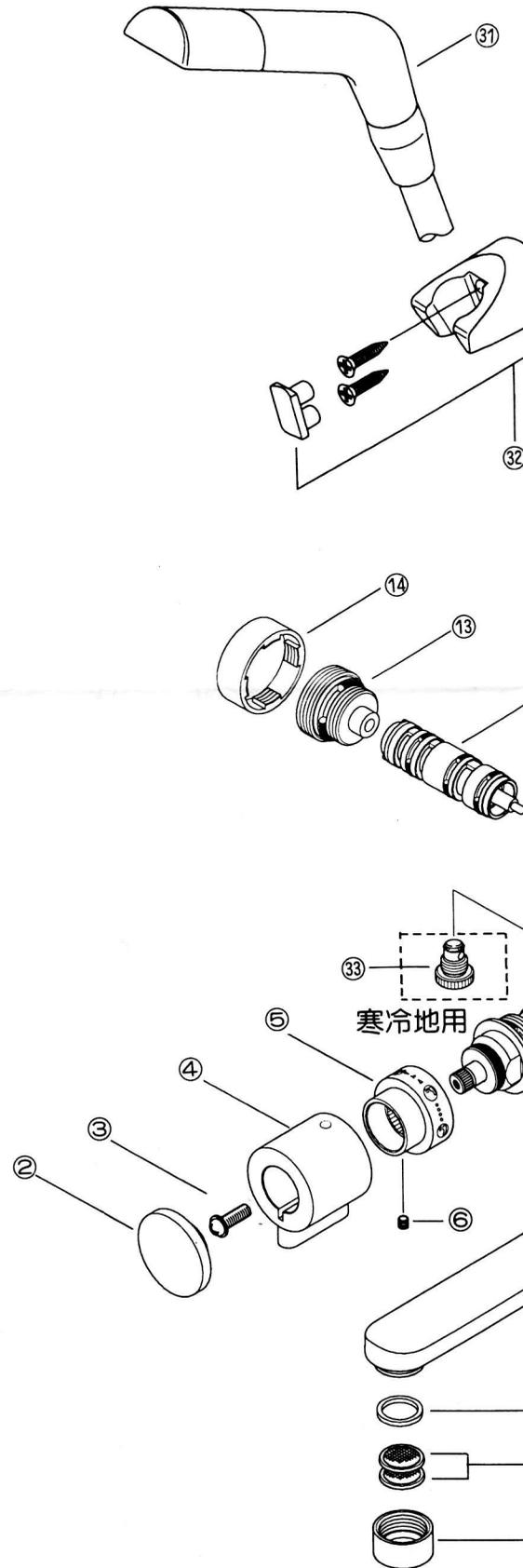
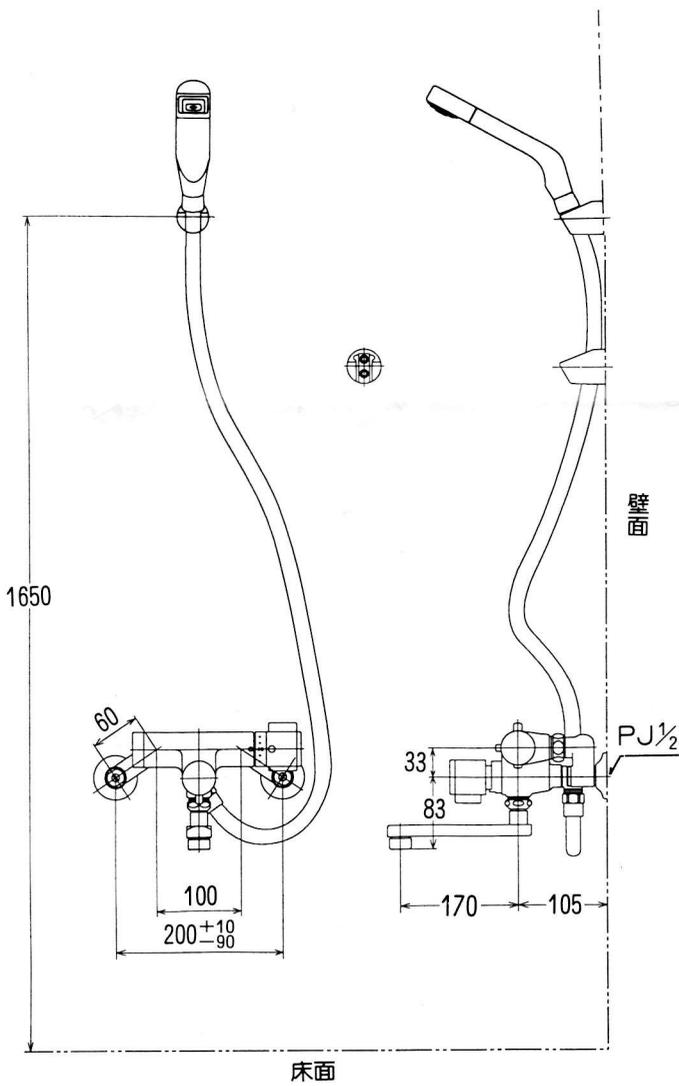
※注1 ハンガーパッキン



①	ボデー
②	キャップ
③	丸小ねじ
④	切換ハンドル
⑤	切換カラー
⑥	ビス
⑦	切換ボンネット
⑧	温度調節ハンドル
⑨	ストップカラー
⑩	ビス
⑪	温調ボンネット
⑫	サーモスタットカートリッジ
⑬	ふた
⑭	保護キャップ
⑮	整流器キャップ
⑯	ストレーナ
⑰	パッキン
⑱	吐水パイプ
⑲	パッキン
⑳	逆流防止弁
㉑	パッキン
㉒	止水弁
㉓	ストレーナ
㉔	ソケット
㉕	送り座
㉖	水抜き栓付止水弁
㉗	シャワーエルボ
㉘	ブッシュ
㉙	パッキン
㉚	シャワーホース
㉛	シャワーヘッド
㉜	シャワーハンガー
㉝	水抜き栓

※注1 ハンガーパッキンは、仕様により同梱されていない場合があります。

寸法図と分解図



取り付け手順

1

給水管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。

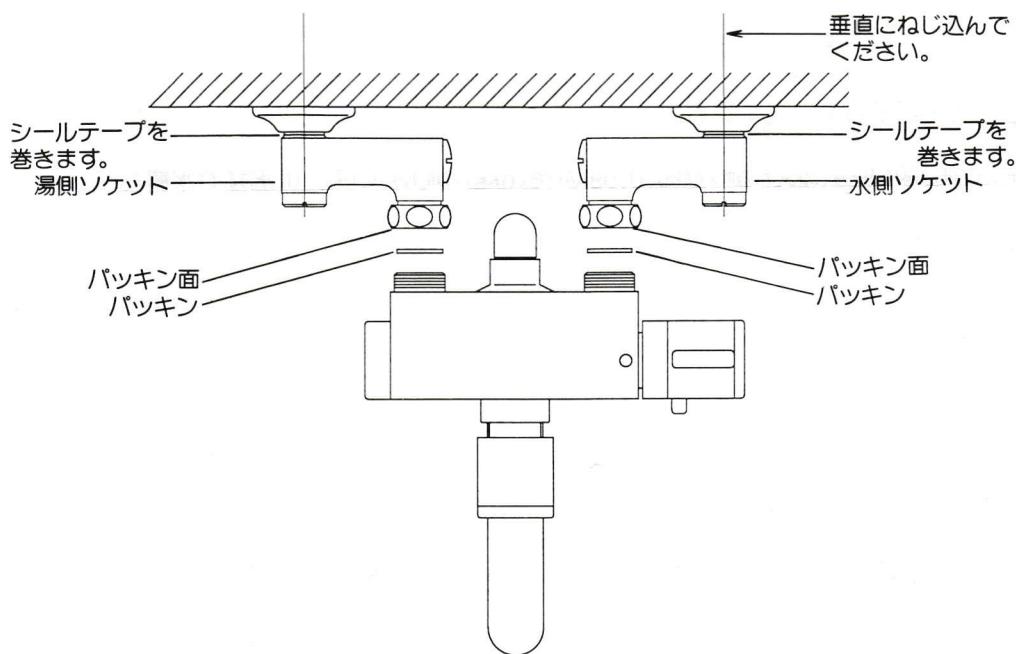
2

ソケットと本体の取り付け

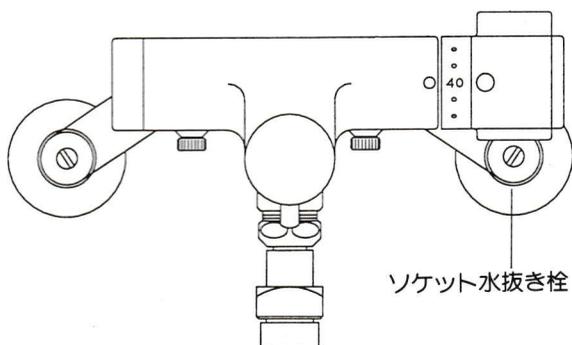
①ソケット部のネジ部にシールテープを4～5巻きます。そして水栓固定金具にソケットのネジ部を垂直にねじ込みます。

〔注意〕水側、湯側ソケットのパッキン面は、段違いにならないようにしてください。

②ソケットと本体の間にパッキンをはさみ接続します。



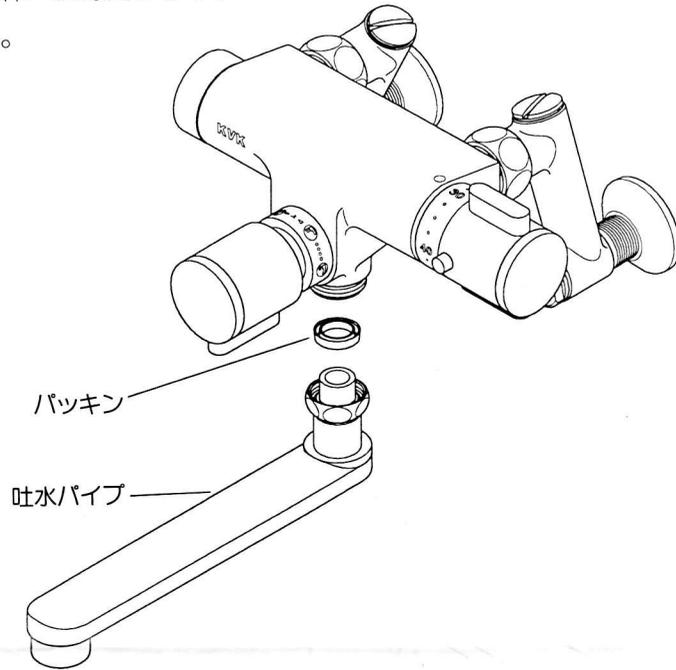
〔注意〕寒冷地仕様の製品は、ソケットの水抜き栓から水が抜けるよう下図のように取り付けてください。



3

吐水パイプの接続

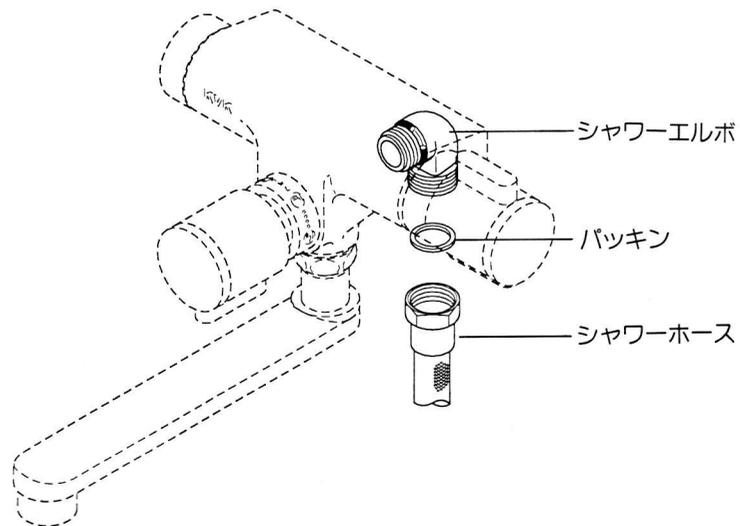
- ①吐水パイプからパッキンはずします。
- ②パッキンを図のように本体へはめ込みます。
- ③吐水パイプを接続します。



4

シャワーホースの接続

シャワーホースをシャワーエルボに接続します。



取り付け後の点検と清掃

ストレーナの清掃方法

ストレーナが詰まると吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合がありますので、清掃してください。

①湯水両側の止水弁をしっかり締めて、湯水がでないことを必ず確認してください。

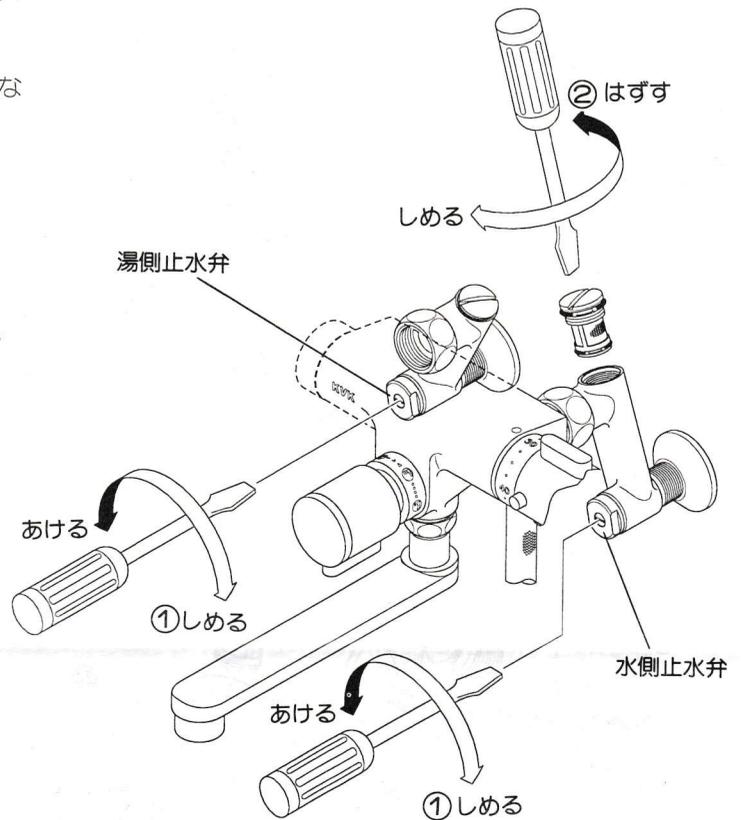
②湯水両側のストレーナを、図のようにドライバーなどではずす方向に回して取りはずします。

③ストレーナを水洗いします。

清掃後は上記の逆の手順で組み込んでください。

組み付け時の注意

切換ハンドルを吐水パイプ側へまわしておいてから、ストレーナを締め付けてください。

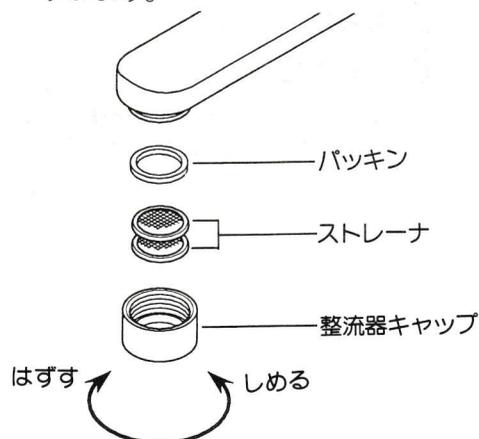


吐水パイプの清掃方法

吐水パイプが詰まると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、清掃してください。

①吐水パイプの整流器キャップを図のようにはずす方向にひねってストレーナを取りはずします。

②ストレーナをブラシで水洗いします。

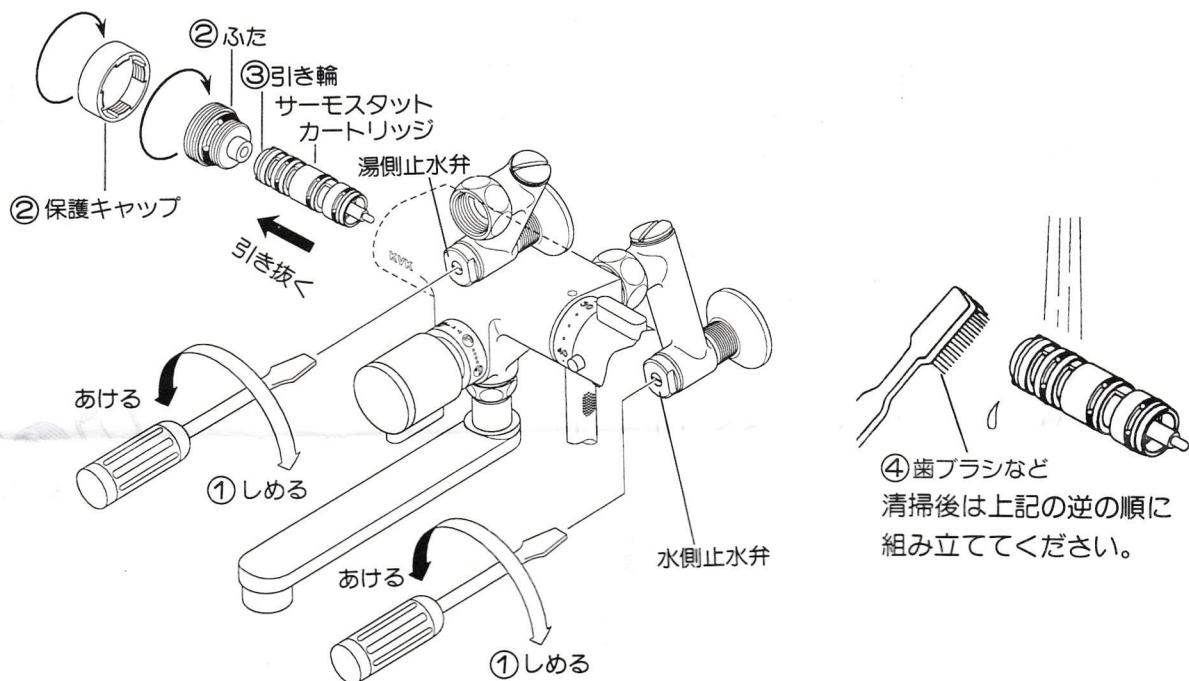


清掃後は①の図の順に組み立ててください。

サーモスタットカートリッジの清掃方法

サーモスタットカートリッジにゴミ、水あか、汚れ等が付着しますと、吐水量が減ったり温度調節がうまくできなかつたりしますので、清掃してください。

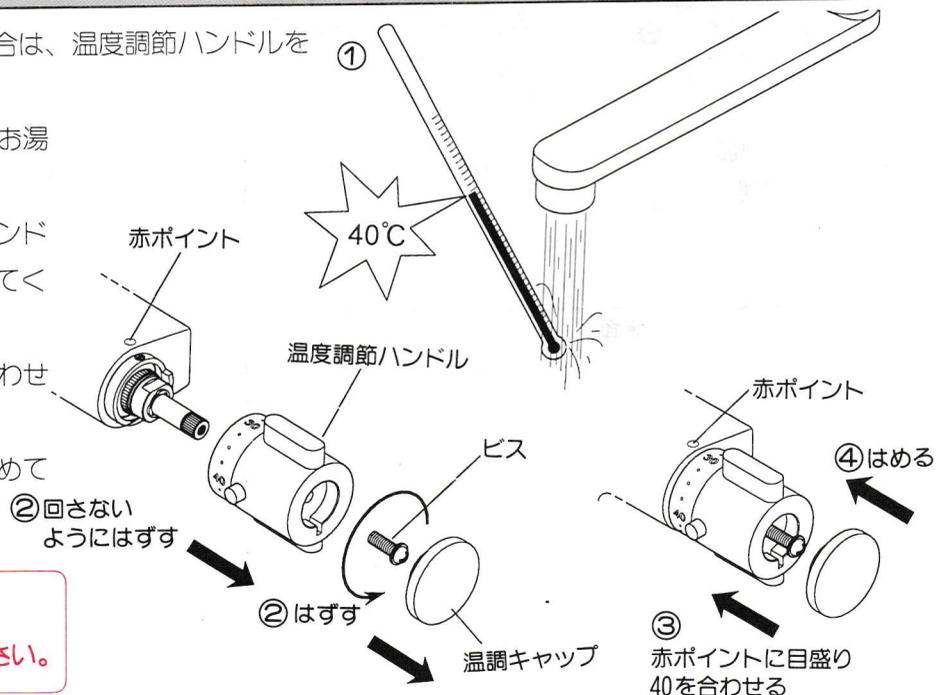
- ①湯水両側の止水弁をしっかり締めて、湯水がでないことを必ず確認してください。
- ②保護キャップ、ふたを取りはずします。
- ③サーモスタットカートリッジの引き輪を起こして取りはずします。
- ④サーモスタットカートリッジをブラシで水洗いします。



温度調節ハンドルの設定方法

吐水温度と調節目盛がズれている場合は、温度調節ハンドルをはめ直してください。

- ①全開吐水で目盛に関係なく40℃のお湯がでる所までまわしてください。
- ②温調キャップ、ビスをはずし、ハンドルがまわらないように取りはずしてください。
- ③赤ポイントに「40」の目盛りを合わせハンドルをはめてください。
- ④ビスで固定して温調キャップをはめてください。



**目盛は温度表示ではありません。
目盛は温度調節の目安としてください。**